

2019年度 第1回品質工学特別講演会

従来開発方法がかかえるコスト・品質・開発生産性の 悪化リスクと、解決策としての品質工学

日 程：2019年4月16日（火）13:00～14:20（開場12:45）

会 場：滋賀県工業技術総合センター 2階 大研修室

栗東市上砥山232番地 <http://www.shiga-irc.go.jp/access/>

聴講料：無料

定 員：50名（早めにお申し込み下さい）

申込期限：4月15日（月）12:00

主 催：滋賀県品質工学研究会

後 援：滋賀県工業技術総合センター

本講では、普段何気なく見過ごしている従来開発方法がかかえるコスト・品質・開発生産性の悪化リスクを振り返り、その解決策として有効な品質工学の概要を解説いたします。

◆目次

1.従来開発方法がかかえるコスト・品質・開発生産性の悪化リスク

- ・従来開発方法の問題点
- ・開発の流れと問題点
- ・開発結果の問題点

2.品質工学概要

- ・品質工学とは
- ・品質工学のアプローチ
- ・開発の流れと品質工学
- ・企業競争力に効く『従来開発方法』と『品質工学による開発』の差異
- ・品質工学の目的・狙い
- ・従来開発方法と品質工学の違いまとめ

3. 質疑応答

■特記事項

※録音・撮影行為を固くお断り致します。

※コンサルタント・講師業の方の受講を固くお断り致します。

■申し込み方法

滋賀県品質工学研究会事務局あて

①参加者氏名②所属③連絡先④講演会希望と記入の上、下記E-mailまたは、FAXでお申し込み下さい

■問い合わせ

滋賀県品質工学研究会事務局 中尾誠仁

滋賀県湖南市大池町1-1 株式会社ネオス内

T E L : 0748-75-3161 F A X : 0748-75-0418

E-mail : nakao-s@neos.co.jp



■講演者プロフィール

MOSHIMO研 代表 福井 郁磨氏

[元オムロン(株)/元パナソニック(株)/元東レ(株)
/元LG Electronics Japan Lab(株)]

●経歴：

1993年にオムロン(株)に入社。2006年にパナソニック(株)に入社。2007年後半に東レ(株)に入社。その後、2010年にLG Electronics Japan Lab(株)に入社。各会社にて、新事業・技術・製品の企画、それらの研究開発とマネジメントを担当。多変量解析、実験計画法、品質工学、人工知能に関して、電子部品・ロボット・加工・検査技術・生活家電などの分野で約23年の経験を持つ。2015年にMOSHIMO研を開業。現在、品質工学・人工知能技術を中心とした製造業に対する技術課題解決支援を行っている。

※単独講師の技術セミナー・研修で、年間受講者数1000人以上の実績を持つ。

●著作

『人工知能の導入による生産性、効率性の向上、新製品開発への活用』共著（技術情報協会）